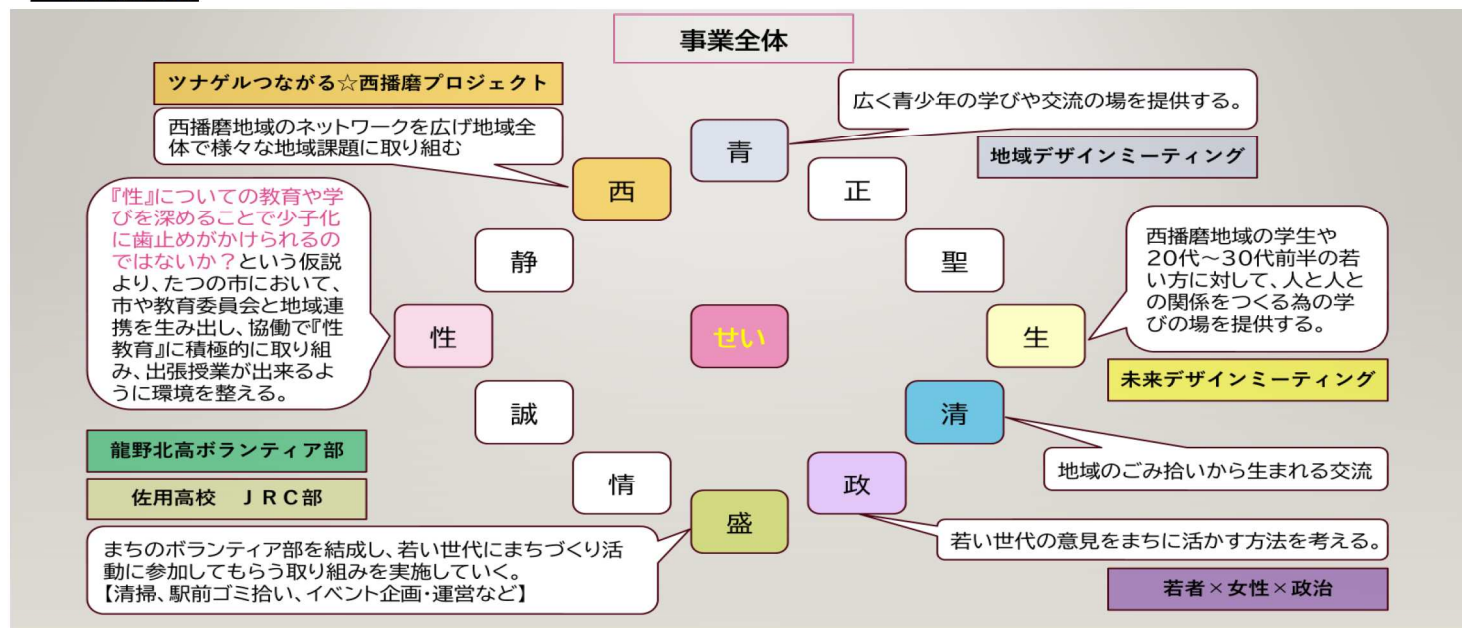


1. 事業が目指すところ

この事業では、『せい』をテーマに様々な取り組みを実施しています。未来を担っていく子ども達に、地域の現状を見て悲観的になるのではなく、明るく楽しい未来を描けるような環境を地域とともに整えていきたいと考えています。そのためには、若い世代の方に明るい未来を描き、将来の夢を持ってもらうことや、人や地域との関わりを深めることが自身の人生においてとても素敵で幸せな事であると感じてもらえる、そのような取り組みをしていきたいと思ひます。そんな感覚を養い実感してもらえよう工夫をすることで、地元愛を育んだり地域の担い手を生み出していきかけにしていきたい。私たちは、この事業により、新たな少子化対策や関係人口創出など、これまではなかったカタチでの若者支援策を生み出すことで、さまざまな地域課題の解決を目指していきたいと考えています。

2. 活動内容



3. 成果や課題点

教育現場の性教育の充実が少子化対策になるのでは？という仮説から行政や教育委員会、学校などに協力をいただき学校教育の現状を調査することができました。それにより、学校と地域との連携によって生み出される新たな学びの場の可能性を知ることができました。

性教育のみならず、人生設計やキャリア教育を充実させることによって、若い世代の方々が早い段階から将来のビジョンをイメージし目標を設定することができるようになります。それによりその後の就職やパートノ一および家族構成の選択などウェルビーイングな未来を目指していけることが可能になると思ひました。ただ、同時に教育現場と地域との連携を生み出していくことはまだまだハードルが高いとも感じています。学校、家庭、地域、企業などその地域で教育に関わっている方々が一体となってチームを組織し取り組む必要性があると感じました。

今後もさらに多様な方に関わっていただきながら、未来を担っていく子どもたちにとって少しでも価値のある有意義な学びの場を生み出せるように取り組んでいきます。

4. 今後の展望、成果の活用

今年度、【せい】をテーマに様々な取り組みを行ってきました。地域や行政との協働・共創事業として若い世代を応援し新たな少子化対策を構築すべくさまざまな調査研究や連携先のつながりも生み出してきました。次年度ではその仲間とともにさらに研究や調査を深めていきながら前に進めていきたいと考えています。次年度では実際に授業を実施できるまで進めていきたいと考えています。3の課題でも記しましたが、進めていくのは簡単ではないでしょうが、様々なご意見を受け止めながら未来を担う子供たちのために実現できるように努力していきたいと思ひます。今後は、検証結果や評価基準なども定めながら、どの程度少子化対策になっているのかなど数値化（見える化）できるように関係者で協議して進めていきたいと思ひます。



提案

小学6年から中学3年で性教育を含めた人生設計とキャリアプランの授業を実施する！

ウェルビーイングの実現により、子どもたちが明るい未来をイメージできる環境と地域を目指す！

地域と学校とで協働し、このような授業を生み出すことで子供たちに明るい前向きな感情を抱かせ、持続可能な明るい未来を描くことができる！！